

1.産地の経緯

日高地方はシュッコンカスミソウ、スターチス等の施設花き栽培の盛んな地域である、その中であって、カジュアルフラワーとして人気があるマーガレットは、比較的粗放栽培が可能で、しかも無霜地帯では露地栽培ができ生産コストが低いという大きなメリットを備えているため、花の栽培農家は年間の労働配分を考え5～6年前より導入をはじめ、作付け面積は年々増加の傾向にある。

2.現在の栽培状況

平成7年度における栽培面積は、2.6ha（内施設1.6ha）で栽培農家数51戸である。平成8年度については作付け面積が3.0ha以上に増加する見込みである。出荷本数は平成6年度141万本、同7年度165万本（2月まで）である。

導入品種は、在来白が中心であるが、一部メロディーピンク等のピンク系や在来黄色等も栽培されている。

栽培の概要

当地域は冬期は温暖であるため、施設栽培では、ほとんどが無加温栽培である。

苗は、6月上～中旬に購入し定植を行うが、前作の都合上、ポットに約2週間程度仮植を行うのも良い。定植後、2～3回のピンチを行い、最終的に1株当たり15～20本に整枝し、11月～早春まで収穫している。

3.問題点

苗は、ほとんどが県外からの購入苗に依存しているが、近年栽培面積が増加しているなかで、優良系統の選抜、苗の不足などの問題が生じている。将来は安定した優良苗の確保ができるようにすすめている。

また、肥培管理については、前作との関係を含め、多肥栽培による株枯れや、帯化現象による品質低下等の問題がある。

これらの問題について、普及センター、暖地園芸センター、農協が連携をとりながら、生産者と

ともに現地検討会や栽培講習会等を開催して積極的に取り組んでいる。

4.今後の育成方向

生産者が年々増加するなか、品質格差をなくし、高位平準化をめざし、長期継続出荷に取り組むためには、作付体系や促成栽培技術の安定確立、優良系統の選抜が必要となる。

今後関係者と産地が一体となり、マーガレットが主要品目となるよう取り組んでいきたい。

（日高地域農業改良普及センター）

表1 日高地域におけるマーガレットの年度別面積

年度	露地栽培面積(ha)	施設栽培面積(ha)
H.4	1.6	0.6
5	1.9	0.9
6	1.9	0.9
7	2.6	1.6



図1.マーガレットの栽培状況

編集後記

今回アンケート用紙を同封いたしました。皆様からの御意見を頂き、親しまれる紙面になる様編集委員一同努力します。(K.K)

和歌山県暖地園芸センターニュース No.9

平成8年7月15日発行

編集・発行 和歌山県暖地園芸センター

〒644 和歌山県御坊市塩屋町南塩屋724

電話 0738-23-4005

FAX 0738-22-6903